



主な内容

- 1~2……市民広報特派員レポート「地元の魅力を再発見！」
- 3……ひまわり、国津の杜の行事、やなせ宿じし
- 4……二次救急実施病院(9月)、救急の日・救急医療週間講演会

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp



美旗地域には、県下最大級の前方後円墳である馬塚古墳(写真)をはじめとする7つの古墳からなる美旗古墳群や多くの文化遺産が残ります。

美旗地域は、農業集落地と美旗駅を中心に開かれた住宅地が混在し、

地域振興部会
部長 岡田博さん



地縁法人美旗まちづくり委員会
新田水路は、昭和54年に、家族5人で京都市から名張市に引っ越してきました。当時、美旗駅の周りには住宅も少なく、我が家からも「馬塚古墳」が見え、空気もおいしく、いいところに引っ越してきたと思ったものです。

長年住んでいると、引っ越してきた当時には気づかなかった美旗地域のよところがたくさん見えてきました。自分が住む地域のすばらしさを、皆さんに伝えたいと思い市民広報特派員に応募し、今回レポートをさせていただきます。

レポートでは、美旗まちづくり委員会やボランティアガイドおきつも、観阿弥顕彰会、JA伊賀南部美旗メロン部会の皆さんに、活動や活動に対する思いなどを聞きました。



「語り部養成講座」で熱心に話を聞く受講者

文化を共有することで、新旧住民の親睦や共通理解を深めたい

新旧住民が生活している地域です。地域内には、5世紀後半に構築された県下最大級の馬塚古墳をはじめとする多くの文化遺産が残り、美しい自然を感じられる地域です。

まちづくり委員会では、美旗地域の10年、20年先の将来像を示す地域ビジョン「みはた・ミュージアム・マスタープラン」の中で、古墳群を含む自然環境の有効活用を掲げています。昨年は、古墳のことをより多くの人に知っていただくことと、子どもたちにも理解できる案内板を7つの古墳に設置しました。

また、史跡整備事業だけでなく、今年度は、美旗市民センターと共催で、美旗を訪れる皆さんに美旗の魅力を発信する「美旗の語り部」を養成する講座を開催しています。自分

テーマ

市民広報特派員レポート

地元の魅力を再発見!

リポーター

市民広報特派員
境 和江さん
(81歳/美旗町中1番)



わたしは、昭和54年に、家族5人で京都市から名張市に引っ越してきました。当時、美旗駅の周りには住宅も少なく、我が家からも「馬塚古墳」が見え、空気もおいしく、いいところに引っ越してきたと思ったものです。

長年住んでいると、引っ越してきた当時には気づかなかった美旗地域のよところがたくさん見えてきました。自分が住む地域のすばらしさを、皆さんに伝えたいと思い市民広報特派員に応募し、今回レポートをさせていただきます。

レポートでは、美旗まちづくり委員会やボランティアガイドおきつも、観阿弥顕彰会、JA伊賀南部美旗メロン部会の皆さんに、活動や活動に対する思いなどを聞きました。



新田水路について説明を受ける境さん

▼市民広報特派員レポート…市民参加の広報紙づくりを行うため、市では市民広報特派員を委嘱。地域のさまざまな課題についてレポート(報告)いただいています。